



海津市
第2次総合計画
後期基本計画

2022 - 2026

概要版

海津市

1

計画策定の趣旨

本市では、平成 29（2017）年に「海津市第 2 次総合計画」を策定し、将来像「水と緑と人がきらめく 輪でつながるまち 海津」の実現に向け、様々な施策に取り組んできました。

「海津市第 2 次総合計画」の前期 5 年間の基本計画（前期基本計画）が令和 3（2021）年度で終了するため、時代の潮流や新たな課題を踏まえた上で、「海津市第 2 次総合計画（基本構想）」の目指す姿を再確認するとともに、前期基本計画の進捗状況を点検・評価し、本市が目指す望ましい将来とこれを実現するためのまちづくりの基本的な方向を示す、後期 5 年間の基本計画である「海津市第 2 次総合計画後期基本計画」を策定します。

2

将来像

水と緑と人がきらめく 輪でつながるまち 海津

本市では、出生率の低下や若年世代の市外への転出等を背景として、人口減少・少子高齢化が進んでいます。将来にわたり、本市が持続可能なまちであるためには、人口減少に歯止めをかけ、多世代が安心して生活できる環境づくりに取り組むことが重要となります。

今後、東海環状自動車道に海津スマートインターチェンジが新設されることによる様々な効果を十分に取り込むような施策や、「千代保稲荷神社」「千本松原・国営木曾三川公園」といった観光資源を十分に活用するような施策を展開するとともに、市民・事業者・行政が一体となって住みやすい環境整備を進めていく必要があります。

そこで、人々が安心して働き、子どもたちを安心して育てるとともに、地域の活性化を図り、全ての人が手を取り合い、輪でつながるまちづくりを目指します。

3 目標人口と課題

海津市第2次総合計画の策定時においては、令和8（2026）年における目標人口を33,000人としていましたが、令和2（2020）年における本市の人口は32,735人となっており、目標人口との乖離が大きくなっていることから、目標年度である令和8（2026）年度の目標人口を見直し、30,000人といたします。

人口減少の要因となった様々な課題の改善に向けて、『子育て世代に選ばれる まちづくり』を重要な目標と捉え、雇用の確保と増大を図るための産業振興、住環境の整備や市街地の形成、交通網をはじめとした交流基盤の整備などに取り組むとともに、若年世代が安心して暮らすことのできる子育て環境や教育環境の整備など、総合的なまちづくりを推進します。

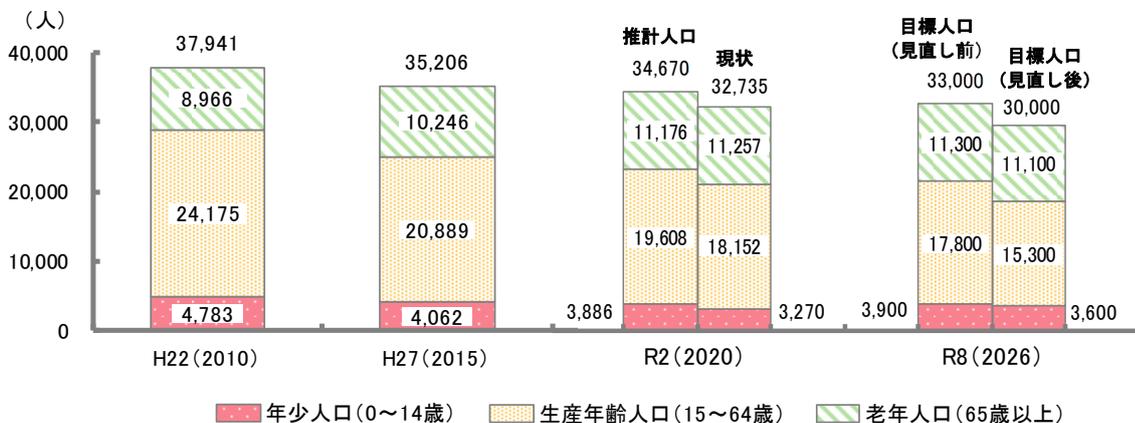
3

目標人口

30,000 人

目標年度 令和8（2026）年度

■ 年齢3区分人口の推移と推計



(注)・平成22（2010）年、平成27（2015）年及び令和2（2020）年現状の人口は国勢調査より引用。
 ※人口総数には、年齢「不詳」を含むため、年齢3区分別人口とは一致しない。
 ・令和2（2020）年推計人口、令和8（2026）年目標人口（見直し前）は、平成27年10月に策定した「海津市人口ビジョン」をもとに算出。
 ・令和8（2026）年目標人口（見直し後）は、令和元年11月に策定した「海津市人口ビジョン（改訂版）」をもとに算出。

4 基本目標と施策の大綱

海津市第2次総合計画は、平成29（2017）年度から令和8（2026）年度までを計画期間とし、「水と緑と人がきらめく 輪でつながるまち 海津」を『まちづくりの将来像』としました。

[将来像]

[基本目標]

水と緑と人がきらめく
輪でつながるまち
海津



1

だれもが健康で 笑顔あふれる
まちづくり
【医療・保健・福祉】

2

安全で快適な 住み良い まちづくり
【都市基盤・防災・環境】

3

個性と創造性を培う 心豊かな
まちづくり
【教育・文化】

4

自然と調和のとれた 賑わいと活力のある
まちづくり
【産業・雇用】

5

協働による 自主的・自立的な まちづくり
【協働・行財政】



この『まちづくりの将来像』を目指し、総合的かつ計画的な施策展開を図るため、その基本的な体系を次のとおり構成します。

また、後期基本計画の柱となる『子育て世代に選ばれる まちづくり』に関連が深い11の施策（海津イレブン）を重点施策に位置づけます。

[施策]

1-1	地域医療の推進		
1-2	健康づくりの推進	★	
1-3	子育て支援の充実	重点施策 1	→
1-4	障がい者（児）福祉の充実		
1-5	高齢者福祉の推進		
1-6	母子・父子福祉の充実		
1-7	地域福祉の推進		
1-8	社会保障制度の健全な運用		
2-1	計画的な土地利用の推進	重点施策 2	→
2-2	交通網の整備	重点施策 3	→
2-3	防犯対策・交通安全対策の充実		
2-4	住環境の整備	重点施策 4 ★	→
2-5	防災対策の充実	重点施策 5	→
2-6	消防・救急体制の充実		
2-7	上・下水道等の整備		
2-8	公園・緑地の整備		
2-9	自然環境の保全		
3-1	学校教育環境の充実	重点施策 6	→
3-2	生涯学習環境の充実		
3-3	青少年の健全育成支援		
3-4	文化の振興		
3-5	スポーツ活動の振興		
3-6	地域間交流・多文化共生の推進		
4-1	農林漁業の振興	重点施策 7	→
4-2	商業の振興	重点施策 8	→
4-3	工業の振興	重点施策 9	→
4-4	観光の振興	重点施策 10 ★	→
4-5	働きやすい職場づくりの促進		
5-1	市民参画・協働自治の推進		
5-2	平等な社会の推進		
5-3	地域情報化・電子自治体の推進		
5-4	広域的な連携体制の確保		
5-5	効率的な行財政運営の推進	重点施策 11	→

子育て世代に選ばれる

まちづくり

海津市の 海津イレブン

重点施策 11

※ 「子育て世代」は、「これから結婚をしようとする若者から、大学生の子どものいる親までで構成される世代」とする。
 ※ ★ は、アフターコロナを見据えた関連施策

基本目標

1

だれもが健康で 笑顔あふれる まちづくり 【医療・保健・福祉】

1-1 地域医療の推進



住み慣れた地域で必要な医療サービスを受けつつ、安心して自分らしく健やかな生活が営めるよう、医療関係者と行政の連携による地域医療を推進します。

1-2 健康づくりの推進



市民一人ひとりが自ら生活習慣の改善を考え、日常から健康づくりに取り組めるよう、健康に関する情報提供や保健サービスの充実を推進します。

1-3 子育て支援の充実



子育て世代が安心して子どもを生み、育てる喜びを感じられるよう、子育て支援の充実を図るとともに、子どもの視点に立ち、子どもたちの健やかな成長が保障されるような環境の整備を推進します。

1-4 障がい者(児)福祉の充実



障がいのある人が地域の一員として安心して暮らすことができるよう、各種障害福祉サービスや地域生活支援事業等の情報提供と支援体制の強化を図るとともに、自立した生活を支援します。

1-5 高齢者福祉の推進



高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域でのケア体制の充実や高齢者の生きがいづくり、社会参加を推進します。

1-6 母子・父子福祉の充実



母子・父子世帯のニーズの実態把握に努め、自立した生活を営めるよう、国・県の制度に基づく各支援策を実施するとともに、精神的・経済的な安定に向けたきめ細やかな母子・父子福祉の充実に努めます。

1-7 地域福祉の推進



市民が地域でつながりを持ちながら生活できるよう、市民と行政が協働し、自助・共助・公助の視点による福祉意識、ボランティア意識の啓発や地域福祉活動体制の確立を推進します。

1-8 社会保障制度の健全な運用



市民が安心して生活を営むことができるよう、国民健康保険、後期高齢者医療制度、国民年金、介護保険制度、低所得者への支援などの各種社会保障制度の健全かつ適正な運営を推進します。

基本目標

2

安全で快適な 住み良い まちづくり

【都市基盤・防災・環境】

2-1 計画的な土地利用の推進



歴史的、自然的、社会的特性を踏まえ、市民が快適な生活を送ることができるよう、長期的な展望のもとで、総合的かつ計画的な土地の活用、保全を推進します。

2-2 交通網の整備



広域幹線道路と生活道路は、それぞれの機能が十分に発揮できるように計画的な整備、維持・管理を推進します。また、養老鉄道や民営バス等の地域公共交通の確保・維持を目指します。

2-3 防犯対策・交通安全対策の充実



安心を実感できる生活環境の実現に向けて、市民の防犯意識や交通安全意識の高揚を促進するとともに、地域における防犯活動への支援や計画的な交通安全施設の充実を推進します。

2-4 住環境の整備



市外への転出抑制、移住・定住人口の増加に向けて、民間活力を活用しながら様々なニーズに応える住環境の整備を促進します。また、住宅ニーズの受け皿として、空き家の利活用に努めます。

2-5 防災対策の充実



大規模災害の発生に備え、ハード・ソフトの両面から対策を進めるとともに、市民、事業者、行政の連携による防災・減災体制の強化を図り、強靱なまちづくりを推進します。

2-6 消防・救急体制の充実



市民の安全・安心を守るため、行政と地域の連携による防火体制の強化を図ります。また、高齢化等を背景に増加が予想される救急・救助に対する体制の強化を推進します。

2-7 上・下水道等の整備



安全で快適な環境づくりに向けて、上・下水道施設の計画的な維持・管理・更新を推進します。また、下水道については、農業集落排水、合併処理浄化槽とともに、汚水処理整備の推進を図ります。

2-8 公園・緑地の整備



市民の交流促進、都市における防災機能の向上等の多様な観点から、誰もが気軽に利用でき、憩いの場となる公園・緑地の整備を推進します。

2-9 自然環境の保全



木曾三川や水郷地帯、養老山地等、本市独自の豊かな自然環境の保全・再生に努めます。また、環境負荷の低減に向けて、省エネルギー・省資源対策の推進、ごみの減量・再資源化等を推進します。

基本目標

3

個性と創造性を培う ころ豊かな まちづくり【教育・文化】

3-1 学校教育環境の充実



子どもたちが、時代の変化に柔軟に対応できる幅広い知識と視野を身につけることができるよう、小中学校はもちろん就学前教育も含め、学校施設・教育内容の充実や教職員の資質向上を推進します。

3-2 生涯学習環境の充実



市民が生涯にわたって生きがいをもち、文化的で心豊かな生活を送ることができるよう、各種学級・講座等の機会の創出や指導者の発掘・育成を推進します。

3-3 青少年の健全育成支援



世代・地域・心のつながりを強化し、青少年が健やかに育つため、愛情と思いやりに溢れた生きる喜びを感じることができる環境の充実を推進します。

3-4 文化の振興



歴史・文化を身近に感じられるまちとなるよう、優れた文化・芸術に接する機会の提供に努めるとともに、文化施設の整備、文化行事の活性化、伝統文化の継承、文化団体・グループの育成を推進します。

3-5 スポーツ活動の振興



市民が健康でいきいきとした日常生活を送ることができるよう、スポーツ環境の充実や指導者の養成・確保に努め、誰もが気軽に親しむことができるスポーツ環境の整備を推進します。

3-6 地域間交流・多文化共生の推進



市民が幅広く、グローバルな視野をもてるよう、国内外都市や交流団体との連携等により、異文化の理解・経験や多様な交流を推進します。

基本目標

4

自然と調和のとれた 賑わいと活力のある まちづくり【産業・雇用】

4-1 農林漁業の振興



新たな担い手を育成・確保し、生産基盤の充実及び経営体制の強化を促進するとともに、6次産業化やブランド化を推進します。

4-2 商業の振興



活気ある商店街・商業地づくりを目指し、商工団体と連携しながら後継者の育成、経営環境の改善等を図り、地域に根差した商業の振興を推進します。



4-3 工業の振興



東海環状自動車道をはじめとする広域交通体系の整備状況に注視しつつ、企業誘致に向けた体制を強化するとともに、既存企業の経営の合理化・近代化と体質強化を推進します。

4-4 観光の振興



祭りやイベント、観光施設等、恵まれた自然環境、観光資源にさらなる磨きをかけるとともに、周辺施設・周辺市町との連携や効果的な情報発信を推進します。

4-5 働きやすい職場づくりの促進



地域内での雇用確保のため、既存企業の経営強化、企業の誘致、起業の支援を推進します。また、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現や地域における雇用機会の創出を推進します。

基本目標

5

協働による 自主的・自立的な まちづくり 【協働・行財政】

5-1 市民参画・協働自治の推進



市民と行政との協働によるまちづくりの推進、区・自治会や各種団体の地域活動の支援に努め、地域の課題に対して自ら取り組む意識の醸成、体制の強化を推進します。

5-2 平等な社会の推進



一人ひとりが尊重され、個性と能力を十分に発揮することができるように、学校、地域、家庭、職場等における人権・同和教育の充実、男女共同参画社会の実現に向けて、普及・啓発を推進します。

5-3 地域情報化・電子自治体の推進



市民が利用しやすい行政サービスの実現や積極的な市民参画の実現に向けて、行政情報や地域情報の電子化を一体的に推進します。

5-4 広域的な連携体制の確保



市民の生活圏の広域化、政策課題の広域化に対応するため、西濃圏域をはじめとする周辺市町や姉妹都市との交流など様々な地域間交流を推進します。

5-5 効率的な行財政運営の推進



行財政運営の効率化に向け、研修等による職員の能力・資質の向上、行政内部の連携強化を推進します。また、公共施設等は利用状況、市民意向及び財政状況等を勘案して統廃合等を推進します。

5 海津イレブンの方向性

子育て世代に選ばれる
まちづくり

海津市の 海津イレブン 重点施策 11

後期基本計画の中で、海津市が目指す『子育て世代に選ばれる まちづくり』を実現していく上で、関連が深い11の施策を「海津イレブン」として位置づけました。

重点施策 子育て支援の充実

1 切れ目のない 子育て支援

妊娠期から子育て期にわたって安心して住み続けることができる子育て環境づくりに取り組むとともに、子育て世代の経済的負担の軽減を図ります。



重点施策 計画的な土地利用の推進

2 海津 SIC(仮称)周辺を はじめとする土地利用

東海環状自動車道 海津スマートインターチェンジ(仮称)周辺の開発や宅地化の促進など、計画的な土地の活用と保全に取り組みます。



重点施策 交通網の整備

3 交通アクセスの改善と 公共交通の維持・確保

都市圏への交通アクセスの改善を図るとともに、地域公共交通の維持・確保を目指します。また、東海環状自動車道西回り区間の全線開通を見据え、周辺道路の整備を行います。



重点施策 住環境の整備

4 子育て世代の 定住促進

子育て世代のU・Iターンを促進し、移住・定住先として選ばれるまちづくりを進めるとともに、住宅地の整備や住宅取得への支援に取り組みます。



重点施策 防災対策の充実

5 防災・減災 対策

自然災害に対する強靱化と危機管理体制の強化を図るとともに、市民、事業者、行政の連携による防災・減災体制の構築に取り組みます。



重点施策 学校教育環境の充実

6 多様な個性を 引き出す教育

誰一人取り残すことなく、子どもたちの多様な個性を最大限に生かす教育を推進します。また、海津市の歴史や自然・文化を学び、郷土愛を育む教育を推進します。



重点施策 農林漁業の振興

7 稼げる農業・雇用を 生む農業の実現

スマート農業や6次産業化、海津型農業の推進等により、稼げる農業・雇用を生む農業の実現を目指します。



重点施策 商業の振興

8 賑わいと活力 ある商業地づくり

商工団体と連携しながら後継者の育成、経営環境の改善等を図り、持続可能な商業地の形成につなげます。また、地域の特色を生かした特産品を開発するなど、観光事業と連携した商業環境づくりを進めます。





重点施策 工業の振興

9 西回りルート の全線開通を見据えた 地域経済の活性化

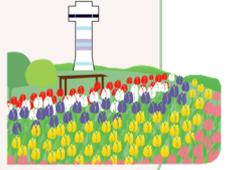


東海環状自動車道西回り区間の全線開通を見据え、企業誘致の取組みを加速するとともに、既存事業者の規模拡大や新分野参入を支援し、地域経済の活性化につなげます。

重点施策 観光の振興

10 地域資源を活かした 観光振興

魅力ある観光資源や地域資源をさらに磨き上げるとともに、地域情報の発信力を強化して、関係人口・交流人口の増加と賑わいあるまちづくりにつなげます。



重点施策 効率的な行財政運営の推進

11 持続可能な行財政運営

行財政資源の選択と集中により、健全で持続可能な行財政基盤の強化を図ります。



6 アfterコロナを見据えたまちづくり

新型コロナウイルス感染症の拡大により、人口密度の高い大都市のリスクの高さが認識され、様々な業態でテレワークの導入が進むなど、「新しい日常（ニューノーマル）」が定着しつつあります。

そのような中、コロナ禍による社会経済の変化を好機と捉え、地方創生の一環として、観光戦略の練り直しや、空き家や空き店舗等を活用したサテライトオフィスの誘致、行政のデジタル化、教育現場におけるICT環境の整備など、積極的に今後のまちづくりの活性化につなげていくことが重要です。

本市では、感染症拡大防止の徹底に加え、Afterコロナを見据えた攻めの戦略として、移住・定住施策やワーケーション、テレワーク、アウトドアレジャー等、本市のポテンシャルを最大限活かした施策を展開していきます。

Afterコロナ
関連施策 健康づくりの推進

1 感染症拡大 防止の徹底

新型コロナウイルス感染症をはじめとした感染症拡大防止に取り組みます。



Afterコロナ
関連施策 住環境の整備

2 ライフスタイルの 変化を踏まえた 移住・定住促進

テレワークやワーケーション、二地域居住等のニーズを踏まえて、空き家や空き店舗の利活用を図り、移住・定住の促進につなげます。



Afterコロナ
関連施策 観光の振興

3 自然資源を 活かした 誘客促進

コロナ禍で人気の高まるアウトドアレジャー等、豊かな自然環境を最大限活用した誘客を促進します。



